

作業区分の変化率の算定【井沢・古津賀の各一部】

実施面積	:	0.15	km <sup>2</sup>				
一筆平均面積	:	1875	m <sup>2</sup>	(調査前)			
	:	3061	m <sup>2</sup>	(調査後)			
縮尺	:	1/1000		視通条件	:	山Ⅱ	
精度	:	乙2		筆の形状	:	不整形	
傾斜条件	:	緩傾斜		計画区からの距離	:	3.0	km

※表〇-〇は地籍調査事業費積算基準書より

変化率の算定

C工程 = ( αC × YC ) × 実施面積

αC = 1.15 表1-13

YC = 1.00 表1-23

= ( 1.15 × 1.00 ) × 0.15

= **0.17**

FⅠ工程 = ( αFⅠ × βFⅠ × γFⅠ × σFⅠ × εFⅠ ) × 実施面積

αFⅠ = 1.15 表1-13

βFⅠ = 1.46 表1-18

γFⅠ = 0.92 表1-19

σFⅠ = 1.00 表1-21

εFⅠ = 1.00 表1-22

= ( 1.15 × 1.46 × 0.92 × 1.00 × 1.00 ) × 0.15

= **0.23**

FⅡ-1工程 = ( αFⅡ-1 × βFⅡ-1 × γFⅡ-1 × σFⅡ-1 × εFⅡ-1 ) × 実施面積

αFⅡ-1 = 1.15 表1-13

βFⅡ-1 = 1.58 表1-18

γFⅡ-1 = 0.87 表1-20

σFⅡ-1 = 1.00 表1-21

εFⅡ-1 = 1.00 表1-22

= ( 1.15 × 1.58 × 0.87 × 1.00 × 1.00 ) × 0.15

= **0.24**

E工程 = ( αE × γE × σE ) × 実施面積

αE = 1.15 表1-13

γE = 0.62 表1-20

σE = 1.00 表1-21

距離係数 = 0.00 表1-17

= ( 1.15 × 0.62 × 1.00 ) × 0.15

= **0.11**

E工程 = 標準本数 × γFⅡ-1 × σFⅡ-1 × 実施面積

(筆界点等本数) 標準本数 = 2,880 表1-7 (筆界杭:単価 304 円)①

γFⅡ-1 = 0.87 表1-20 (アルミナンバープレート+止釘 42 円)②

σFⅡ-1 = 1.00 表1-21

筆界杭 = 2,880 × 0.87 × 1.00 × 0.15 = 375.84 ≒ 376 本③

アルミナンバープレート+止釘 = ③ = 376 枚④

所要材料費 = ③ × ① + ④ × ② = 円⑤

雑品費 = 0 × 0.5 % = 円⑥

杭代 = ⑤ + ⑥ = **円**

### 打合せ経費

名称	規格	員数	単価	金額	備考
測量主任技師					着手・中間・最終
測量技師					着手・最終
測量技師補					中間
合計	(人件費)				

打合せ経費計上額      円

### 測量調査業務旅費交通費内訳書

#### 1. 調査測量業務交通費

名称	数量(日)	単価	金額
技師・技師補の内 の最大値			
合計			

#### 積算内訳

ライトバン損料	運転時間当り	193円 × 1時間 =	円
ライトバン損料	供用日当り		円
燃料代(ガソリン)		174円 × 2.7ℓ =	円
		合計	円
※ライトバン運転 1.0時間当りガソリン数量 2.7ℓ (高知県土木工事標準積算基準)			

交通費計上額      円

#### 2. 調査測量業務日当等

四万十市職員の旅費に関する条例に準じ計上しない。